NTT docomo

クイックスタートガイド　'12.11

SH-01E

Vivienne Westwood

docomo with series

詳しい操作説明は、SH-01Eに搭載されている「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）をご覧ください。

はじめに

「SH-01E」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作方法を確認する

クイックスタートガイド（本体付属品）	基本的な機能の操作について説明しています。
取扱説明書（本端末のアプリケーション）	機能の詳しい案内や操作について説明しています。 ホーム画面で[ ]▶[取扱説明書] ヘルプの表示：[ ]▶[ヘルプ] ※アンインストールした場合は、Google Play™からダウンロードできます。 ホーム画面で[ ]▶[Playストア]▶[ ]▶キーワード入力欄に「取扱説明書」と入力▶[ ]▶[SH-01E Vivienne Westwood 取扱説明書]からインストールしてください。
取扱説明書（PDFファイル）	機能の詳しい案内や操作について説明しています。 ドコモのホームページでダウンロード http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html ※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。
スマホなるほどツアーズ for docomo with series（本端末のウィジェット）	本端末の便利な機能や知っておきたい基本操作をドコモダケと一緒に楽しく学べるウィジェットです。 ホーム画面で スマートフォンの使い方を楽しく紹介！

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はホームアプリがdocomo Palette UIの場合で説明しています。ホームアプリを変更すると、操作手順などが本書の説明と異なる場合があります。
- 本書の本文中においては、「SH-01E」を「本端末」または「端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカード、microSDXCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
-
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

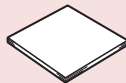
SH-01E本体（保証書付き）

リアカバー SH63

電池パック SH36

microSDカード（2Gバイト）（試供品）
（取扱説明書付き）

- お買い上げ時には、あらかじめ本端末に取り付けられています。

クイックスタートガイド

卓上ホルダ SH39

ワンセグアンテナケーブル SH01

目次

ご使用前の確認と設定

電話/メール/ブラウザ

付録

本端末のご利用について

- 本端末はLTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところ、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容（電話帳、カレンダー、メモ、音声・伝言メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末はｉモード機能（ｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなど）には対応しておりません。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- Wi-Fiテザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- ご利用の料金プランにより、Wi-Fiテザリングご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、次のサイトをご覧ください。
  http://www.nttdocomo.co.jp/

- 公共モード(ドライブモード)には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の動作音声(カメラのシャッター音など)は消音されません。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます(☞P.71)。
- お客様の電話番号(自局番号)は、ホーム画面で[▤]▶[設定]▶[プロフィール]で確認できます。
- 本端末は、OSのバージョンアップにより機能が追加されたり、機能の操作方法が変更になったりすることがあります。この追加・変更に関する内容の最新情報は、ドコモのホームページにてご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いOSバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や、意図しない不具合が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の容量がいっぱいに近い状態のとき、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え、画面のロックを設定し端末のセキュリティを確保してください。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。またその他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 万が一紛失した場合は、Google トーク™、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスや、Twitter、mixiなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- mopera U、ビジネスmoperaインターネット(URL制限)およびspモード以外のプロバイダはサポートしておりません。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
  また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の７項目に分けて説明しています。

本端末・電池パック・アダプタ・卓上ホルダ・ドコモminiUIMカード・ワンセグアンテナケーブルの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

防水性能については下記をご参照ください。

☞P.20「防水／防塵性能」

指示

本端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子、イヤホンマイク端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください(おサイフケータイ ロック設定を行っている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
- 本端末の電源を切る。
- 電池パックを本端末から取り外す。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらワンセグ視聴などを長時間行うと本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

本端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1 m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

本端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

**ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。**

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

Earphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 11.5 mV.

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部の表面には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

ディスプレイの表面には、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保(強化ガラスパネルの飛散防止)を目的とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。
フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について☞P.13「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタ・卓上ホルダの取り扱いについて

⚠警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

端末／リアカバー／電池パック

使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイ面	強化ガラス／表面飛散防止シート付き
ディスプレイ面の上部	PMMA樹脂／UVコート
ディスプレイ面の周囲	PA樹脂／表面UV塗装
電源キー	PC樹脂／表面UV塗装
サイドキー	PC樹脂／表面UV塗装
ストラップピン	SUS
充電端子	SUS／Auメッキ
外部接続端子	銅合金／Pd-Ni上金メッキ
外部接続端子カバー	PC樹脂／表面UV塗装
外部接続端子カバーのパッキン	シリコンゴム
イヤホンマイク端子	銅合金／金メッキ
イヤホンマイク端子の周囲	9Tナイロン
カメラパネル	PMMA樹脂／UVコート
カメラ飾り	Al

使用箇所	材質／表面処理
赤外線ポート	PMMA樹脂／UVコート
赤外線ポートの周囲	PMMA樹脂／UVコート
モバイルライト	PC樹脂
ディスプレイ面の裏側	PA樹脂
スピーカー	PE
スピーカーの周囲	発泡PE
RF端子カバー	PET
ドコモminiUIMカードスロットの樹脂部分	LCP
ドコモminiUIMカードスロットの金属部分	SUS／Niメッキ
ドコモminiUIMカードスロットのレバー	46ナイロン
ドコモminiUIMカードスロットの下部	ABS樹脂
microSDカードスロットの樹脂部分	LCP
microSDカードスロットの金属部分	SUS
FOMA／Xiアンテナ	LDS樹脂／金メッキ、表面UV塗装
電池端子	銅合金／金メッキ
電池収納面	ガラスエポキシ基板／金メッキ、PET
電池収納面の周囲のパッキン	シリコンゴム
ネジ	鋼／Niメッキ、黒Niメッキ、三価クロメート
リアカバー	PC樹脂／表面UV塗装
電池パック本体	PC樹脂／放電加工
電池パック端子部	銅合金／全面Ni下地メッキ、金メッキ

卓上ホルダ

使用箇所	材質／表面処理
本体	ABS 生地
ツメ	POM 生地
スイッチ	POM 生地
レバー	POM 生地
充電端子	Au 0.5 μ 封孔処理
接続端子の金属部	ステンレス鋼
ネジ	SWCH
ストッパー	ポロン

ワンセグアンテナケーブル SH01

使用箇所	材質／表面処理
イヤホンマイク端子（外部）	オレフィン系エラストマー
イヤホンマイク端子（中部）	PBT
イヤホンマイク端子（内部）	PA
イヤホンマイク端子（金属部）	Auメッキ／Ni下地／りん青銅
コード	スチレン系エラストマー
コネクタ	オレフィン系エラストマー
コネクタ（接続部）	POM
プラグ（金属部）	Auメッキ／Ni下地／真鍮
プラグ（樹脂部）	PP

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **SH-01Eは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカード、ワンセグアンテナケーブルは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は５℃～40℃（ただし、36℃以上は一時的な使用に限る）、湿度は45％～85％の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。

- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 端末の表面にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打痕・擦り傷が残りやすくなっておりますので、ご注意ください。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - ■ フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - ■ 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - ■ 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ■ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のＩＣカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- ＩＣ部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ＩＣを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth®機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
  本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

① 2.4：2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ▬▬▬：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

- Bluetooth機器使用上の注意事項
  本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
  1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてのお願い

- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 周波数帯について
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

①　②③　④③
2.4DS4/OF4
⑤

① 2.4:2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS:変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ 4:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
④ OF:変調方式がOFDM方式であることを示します。
⑤ ■■■ :2400MHz~2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末の無線LANで設定できるチャンネルは1~13です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。
利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

- 2.4GHz機器使用上の注意事項
  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

  1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
  3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCaリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊜」が本端末の銘版シールに表示されております。本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
  本端末のFeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。
- **本端末をmicroUSB接続ケーブル 01（別売）でパソコンと接続する場合は使用を禁止された区域などでは行わないようご注意ください。**
  自動的に電源が入る場合があります。

防水／防塵性能

SH-01Eは、外部接続端子カバーをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けた状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1　IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2　IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところにSH-01Eを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3　IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

SH-01Eが有する防水／防塵性能でできること

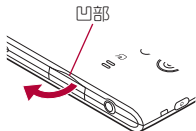
- 雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流（6リットル/分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。リアカバーを取り付けた状態で、外部接続端子カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください（☞P.24）。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

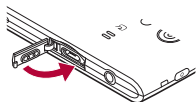
ご利用にあたって

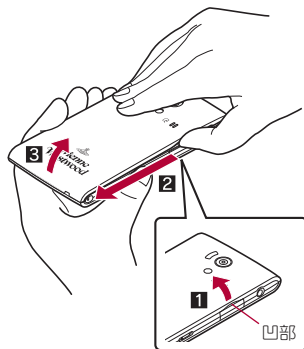
防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- 外部接続端子カバー、リアカバーをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- 外部接続端子カバーやリアカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- 防水／防塵性能を維持するため、外部接続端子カバー、リアカバーはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。
- イヤホンマイク端子の中に埃が入った場合は、綿棒などで取り除いてご使用ください。

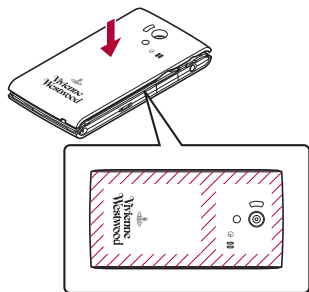
外部接続端子カバーの開きかた

凹部に指先をかけて、開けてください。

外部接続端子カバーの閉じかた

端末と外部接続端子カバーにすき間が生じないように、矢印の方向にしっかりと押して閉じてください。

リアカバーの取り外しかた

1 **端末を両手でしっかりと持ち、リアカバーの凹部に指先をかけて少し開け(1)、指先を端末の下部までスライドさせてツメを外し(2)、上方向に取り外す(3)**

リアカバーの取り付けかた

1 リアカバーの向きを確認して端末に合わせるように装着し、リアカバーの周囲(斜線部)をしっかりと押して取り付ける

- リアカバーと端末にすき間がないことを確認してください。

- リアカバーはしっかりと閉めてください。不十分だとリアカバーが外れ、振動で電池パックが外に飛び出すおそれがあります。また、防水／防塵性能が損なわれ、水や粉塵が侵入する原因となります。
- リアカバーは無理に取り付けようとしたり、取り外そうとしたりすると破損するおそれがあります。無理な力を加えないようにしてください。

- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子カバーの開閉はしないでください。
- 外部接続端子カバー、リアカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など)が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- 外部接続端子カバー、リアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子カバー、電池収納面の周囲のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
  外部接続端子カバー、電池収納面の周囲のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- 外部接続端子カバー、リアカバーのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水や粉塵が侵入する原因となります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。

- 水中で端末を使用（キー操作を含む）しないでください。故障の原因となります。
- 規定（☞P.20）以上の強い水流（6リットル/分を超える）を直接当てないでください。SH-01EはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温（5℃～35℃）の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂／泥の上に直接置かないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口、受話口、スピーカー、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- 端末が水に濡れた状態でイヤホンマイクを挿さないでください。故障の原因になります。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。付属の卓上ホルダに端末を置いた状態の場合、ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。

せっけん／洗剤／入浴剤

海水

プール

温泉

砂／泥

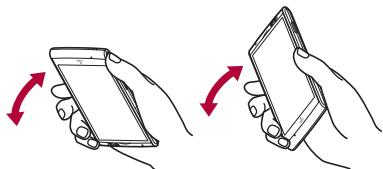
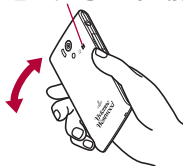
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

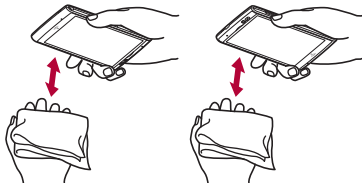
水に濡れたときの水抜きについて

端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

1 端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

- ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。

2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

3 送話口、受話口、スピーカー、キー、イヤホンマイク端子などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出してください。

4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

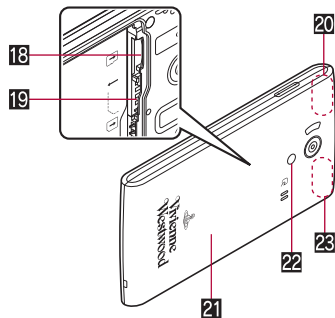
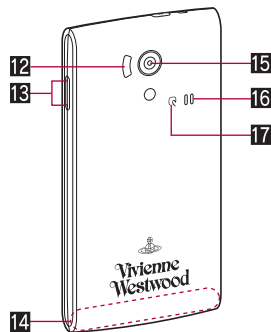
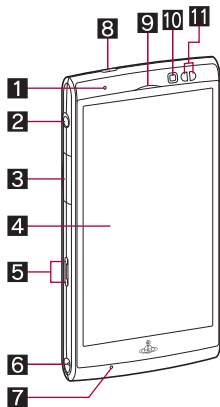
充電のとき

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末が濡れていないか確認してください。濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子カバーを開いたりしてください。
- 外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。

- 端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

1 着信／充電ランプ
2 イヤホンマイク端子
3 外部接続端子
4 ディスプレイ／タッチパネル
5 充電端子
● 付属の卓上ホルダで充電するための端子です。
6 ストラップ取り付け口
7 送話口／マイク
8 (電源):電源キー
● 電源を入れる／切るときなどに利用します。
● スリープモードの設定／解除に利用します。
9 受話口
10 インカメラ
11 近接センサー／明るさセンサー※1
● 近接センサーは、通話中に顔の接近を感知して、タッチパネルの誤動作を防ぎます。
● 明るさセンサーは、周りの明るさを検知して、バックライトの明るさを調整します。
12 赤外線ポート
13 (上)／(下):音量UP／DOWNキー
● 各種機能で音量を調節します。
14 FOMA／Xiアンテナ※2
15 アウトカメラ
16 スピーカー
● 着信音や音楽などがここから聞こえます。
● ハンズフリー通話中は相手の声がここから聞こえます。
17 (FeliCa)マーク
● ＩＣカードが搭載されています（取り外しはできません）。
18 microSDカードスロット
19 ドコモminiUIMカードスロット
20 FOMA／Xiサブアンテナ※2
21 リアカバー
22 モバイルライト
23 GPS／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ※2

※1 センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。センサーが正常に動作しないことがあります。
※2 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響をおよぼす場合があります。

イヤホンマイク端子について
● 対応するイヤホンマイクについては次のサイトをご覧ください。
http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-01e/peripherals.html#!/earphone_support

着信ランプについて
● ディスプレイが表示されている場合、不在着信や新着メールをお知らせする着信ランプが点滅しません。お知らせアイコンで確認してください。ワンセグを横表示で視聴している場合など、お知らせアイコンが表示されないときはステータスバーが表示される画面で確認してください。

ディスプレイについて
● ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

ドコモminiUIMカード

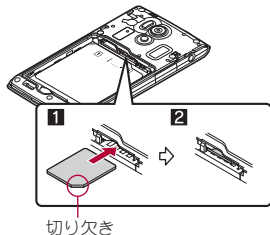
ドコモminiUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているＩＣカードです。

- ドコモminiUIMカードを取り付けないと、電話、パケット通信などの機能を利用できません。
- ドコモminiUIMカードは、対応端末以外ではご利用いただけないほか、ドコモUIMカードからのご変更の場合は、ご利用のサイトやデータなどの一部がご利用いただけなくなる場合があります。
- 日本国内では、ドコモminiUIMカードを取り付けないと緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから背面を上向きにし、電池パックを取り外してから行ってください。端末は、両手でしっかり持ってください。

取り付けかた

1 リアカバーを取り外す（☞P.21）

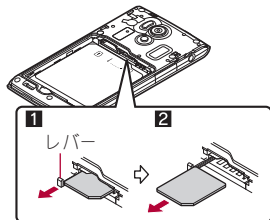
2 ドコモminiUIMカードのＩＣ（金色）面を下に向けて、ドコモminiUIMカードスロットにセットする（1）

- 奥まで差し込んでください（2）。

3 リアカバーを取り付ける（☞P.22）

取り外しかた

1 リアカバーを取り外す（☞P.21）

2 レバーを引いて、ドコモminiUIMカードを引き出し（1）、まっすぐ引き抜く（2）

- 取り外す際は、ドコモminiUIMカードを落とさないようにご注意ください。

3 リアカバーを取り付ける（☞P.22）

- レバーを無理に引っ張ったり、力を加えたりすると、破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとドコモminiUIMカードが破損するおそれがありますので、ご注意ください。
- ドコモminiUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモminiUIMカードの取扱説明書を参照してください。
- 取り外したドコモminiUIMカードは、なくさないようにご注意ください。

microSDカード

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

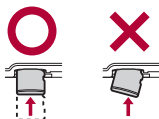
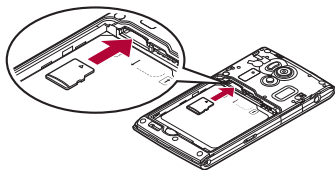
- SH-01Eでは市販の２Gバイトまでのmicro SDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカード、64GバイトまでのmicroSDXCカードに対応しています（2012年11月現在）。microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については、次のサイトをご覧ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-01e/peripherals.html#!/microsd_support
  掲載されているmicroSDカード以外については、microSDカードの製造メーカへお問い合わせください。
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 利用できるファイルのサイズは、１ファイル２Gバイトまでです。
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後（端末で使用するための情報を書き込み中）や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります（データはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- microSDカードの取り付け／取り外し（マウント解除後を含む）は、電源を切って、背面を上向きにし、電池パックを取り外してから行ってください。端末は、両手でしっかり持ってください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

取り付けかた

1 リアカバーを取り外す（☞P.21）

2 microSDカードの金属端子面を下に向けてゆっくりと挿入する

- microSDカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態で無理に押し込まないでください。microSDカードスロットが破損することがあります。

- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。

3 リアカバーを取り付ける（☞P.22）

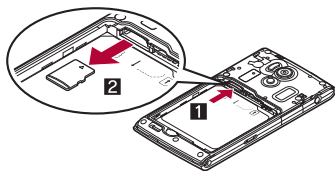
取り外しかた

1 リアカバーを取り外す（☞P.21）

2 microSDカードを軽く押し込む（❶）

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、端末やmicroSDカードを破損させるおそれがあります。

3 microSDカードを取り外す（❷）

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。

4 リアカバーを取り付ける（☞P.22）

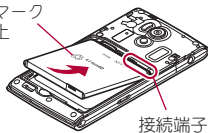
電池パック

- 電池パックは、本端末専用の電池パック SH36をご利用ください。
- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから背面を上向きにし、両手でしっかり持って行ってください。

取り付けかた

1 リアカバーを取り外す（☞P.21）

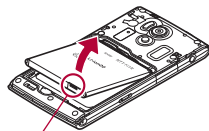
2 電池パックを取り付ける

- 電池パックのリサイクルマークのある面を上に向けて、端末の接続端子と電池パックの接続端子を合わせて取り付けてください。

3 リアカバーを取り付ける（☞P.22）

取り外しかた

1 リアカバーを取り外す（☞P.21）

2 電池パックを取り外す

- 電池パックには取り外し用のツメが付いています。ツメの部分に無理な力を加えないよう指先をかけて上方向に取り外してください。

3 リアカバーを取り付ける（☞P.22）

- 無理に取り付けたり、取り外したりすると、端末の電池パックとの接続端子（充電端子）が破損することがあります。

充電

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

- 外部接続端子カバーの閉め忘れによる水や粉塵の侵入を防ぐため、付属の卓上ホルダ SH39を使用して充電することをおすすめします（☞P.32）。

充電時のご注意

- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。
このような場合、ACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）は再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタから端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。

卓上ホルダで充電

- 卓上ホルダでの充電には、ACアダプタ 03の使用をおすすめします。

1 **microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを、USBマークを上にして卓上ホルダの接続端子に水平に差し込む**

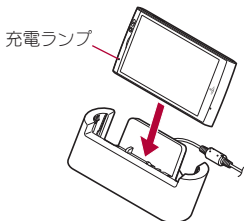
- microUSBプラグの向き（表裏）をよく確かめ、水平に差し込んでください。

2 **microUSB接続ケーブルのUSBプラグを、USBマークを手前にしてACアダプタ本体のUSBコネクタに水平に差し込む（❶）**

- microUSB接続ケーブルのUSBプラグの向き（表裏）をよく確かめ、ACアダプタ本体に水平に差し込んでください。

3 **ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントに差し込む（❷）**

4 端末を卓上ホルダに置くと、充電ランプが点灯して、充電が開始する

- 端末を矢印の方向に「カチッ」と音がするように置いてください。

5 充電が完了すると、充電ランプが消灯する

- 卓上ホルダを押さえながら、端末を持ち上げます。

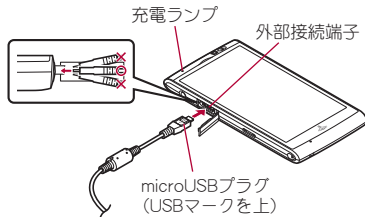
- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 充電ランプが点灯しないときは、端末が卓上ホルダに正しく置かれていないことがあります。正しく置きなおしてください。
- 端末を卓上ホルダに置くときは、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。
- 卓上ホルダとパソコンをmicroUSB接続ケーブルで接続しても充電することはできません。

ACアダプタ／DCアダプタで充電

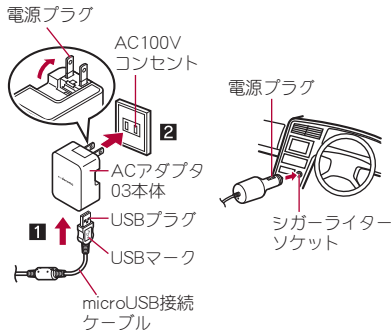
[必ずFOMA ACアダプタ01／02（別売）、FOMA DCアダプタ01／02（別売）、ACアダプタ 03（別売）、DCアダプタ 03（別売）、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01／T01（別売）の取扱説明書を参照してください]

- 次の操作はACアダプタ 03またはDCアダプタ03を使用して説明しています。

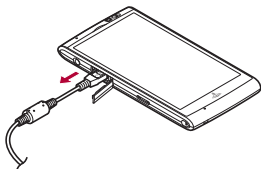
1 端末の外部接続端子カバーを開き、microUSB接続ケーブル／DCアダプタのmicroUSBプラグを、USBマークを上にして外部接続端子に水平に差し込む

- microUSBプラグの向き（表裏）をよく確かめ、水平に差し込んでください。

2 microUSB接続ケーブルのUSBプラグを、USBマークを手前にしてACアダプタ本体のUSBコネクタに水平に差し込む(1)

- microUSB接続ケーブルのUSBプラグの向き(表裏)をよく確かめ、ACアダプタ本体に水平に差し込んでください。

3 ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントに差し込む(2)、またはDCアダプタの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込むと、充電ランプが点灯して、充電が開始する

ACアダプタの場合　　DCアダプタの場合

4 充電が完了すると、充電ランプが消灯する

- 充電が終わったら、microUSBプラグを外部接続端子から水平に抜いてください。

- 無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子やmicroUSBプラグ、USBプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。
- 長時間使用しないときは、アダプタをコンセントまたはシガーライターソケットから抜いてください。
- 外部接続端子カバーは無理に引っ張らないでください。破損することがあります。
- 充電時、端末の周りに物などを置かないでください。端末に傷を付けるおそれがあります。
- FOMA ACアダプタ01／02やFOMA DCアダプタ01／02で充電するには、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01／T01(別売)が必要です。

DCアダプタのとき

- DCアダプタはマイナスアース車専用です(DC12V・24V両用)。
- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタのヒューズは消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。
- 詳しくは、FOMA DCアダプタ01／02、DCアダプタ 03の取扱説明書をご覧ください。

microUSB接続ケーブル 01で充電

端末の電源が入っているときに、端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続すると、端末を充電することができます。

- あらかじめ、パソコンにUSBドライバをインストールしておいてください。パソコンにUSBドライバをインストールしていない場合、高速転送モードで接続したときに充電することができません。
  - ・USBドライバのインストールについては、次のサイトのPDF版「USBドライバインストールマニュアル」をご覧ください。
    http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-01e/

電源ON／OFF

電源ON

1 **⏻（2秒以上）**

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定画面が表示されます。各設定項目はメニューからも設定できます（☞P.39）。
- ドコモサービスの初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

電源OFF

1 **⏻（1秒以上）▶［電源を切る］▶［OK］**

スリープモード

⏻を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

スリープモード中に⏻を押すと、スリープモードが解除されます。

タッチパネルのロック

電源を入れたときやスリープモードを解除したときはタッチパネルがロックされています。

［🔒］をタッチすると、ロックが解除されます。

タッチパネルのロック解除画面の操作

- マナーモード設定／解除：（1秒以上）
- モバイルライト点灯：（1秒以上）
  - ・消灯するときはいずれかのキーを押すか、［🔒］をタッチします。
- カメラの起動：［📷］

- 画面のロックを［スライドまたはタッチ］に設定している場合、ステータスパネルを表示できます。

基本操作

タッチパネルの操作

タッチパネル（ディスプレイ）を直接指で触り、操作を行うことができます。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ■手袋をしたままでの操作
  - ■爪の先での操作
  - ■異物を操作面に乗せたままでの操作
  - ■保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ■タッチパネルが濡れたままでの操作
  - ■指が汗や水などで濡れた状態での操作

タッチ

画面に表示されるキーや項目をタッチして、選択・決定を行います。

1 タッチパネルに触れて、指を離す

ロングタッチ

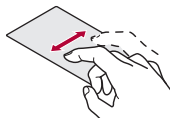
利用中の機能や画面によっては、画面をロングタッチするとメニューが表示されることがあります。

1 タッチパネルに触れたままにする

スライド／ドラッグ

メニュー表示中などに上下にスライドして画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどに触れたまま、目的の位置までスライド（ドラッグ）して移動したりできます。

また、メニューや項目に間違って触れたときにメニューや項目から離れるようにスライドすると、選択を中止できます。

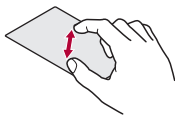
1 タッチパネルに触れたまま、指を動かす

フリック

ホーム画面などで左右にフリックすると、ページの切り替えができます。

1 タッチパネルをはらうように指を動かす

ピンチアウト／ピンチイン

画像表示中などにピンチアウト／ピンチインすると、画像の拡大／縮小ができます。

1 2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる（ピンチアウト）／狭める（ピンチイン）ように指を動かす

機能利用中の操作

ナビゲーションキー

画面下部に表示されるナビゲーションキーを使って基本的な操作を行うことができます。

1 ：戻るキー
- 1つ前の画面に戻します。

2 ：ホームキー
- ホーム画面のメインページを表示します。

3 ：メニューキー
- 利用できる機能（メニュー）を表示します。

4 ：アプリ使用履歴キー
- 最近使用したアプリケーションの履歴を表示します。

メニューを呼び出す

[ ]をタッチしたり画面をロングタッチしたりすると、その画面で利用できる機能（メニュー）が表示されます。

例：ホーム画面

アプリケーション使用履歴の利用

最近使用したアプリケーションの履歴を表示し、アプリケーションを起動することができます。

1 [⧉]

2 履歴を利用する

設定の切替

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタッチすることで設定の有効／無効や[ON]／[OFF]を切り替えることができます。

例：位置情報サービス画面、アラーム画面

- [☑]は有効、[□]は無効の状態です。

縦／横表示

端末を傾けたときに画面の表示が切り替わります。

- 端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、縦／横表示は切り替わりません。
- 自動的に切り替わらないように設定することもできます。

スクリーンショットを撮影

⏻＋▯を1秒以上押すと、表示中の画面を本体メモリに保存できます。

- 撮影時にシャッター音が鳴ります。

端末内やサイトの情報の検索

1 ホーム画面で[▼]▶[検索]

2 キーワードを入力

3 検索結果を選ぶ

検索設定

1 クイック検索ボックスで[☰]▶[設定]

2 項目を選ぶ

■ 検索対象：検索する対象の範囲を設定します。

■ Google検索：Google検索について設定します。

初期設定

1 ホーム画面で[▼]▶[設定]▶[初期設定]▶[次へ]
2 [プロフィール設定へ]▶プロフィールを設定▶[次へ]
3 [画質モード設定へ]▶画質モードを設定▶[次へ]
4 [Googleアカウント設定へ]▶Googleアカウントを設定▶[次へ]
5 位置情報について設定▶[次へ]
6 [Wi-Fi設定へ]▶Wi-Fiを設定▶[次へ]
7 [ロック画面・ホーム一括切替へ]▶ロック解除画面とホームアプリを設定
8 [完了]

アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント(spモード、mopera U)は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認

1 ホーム画面で[▼]▶[設定]▶[ネットワーク設定]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

アクセスポイントを追加で設定

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で[▼]▶[設定]▶[ネットワーク設定]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶[☰]▶[新しいAPN]
2 [名前]▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶[OK]
3 [APN]▶アクセスポイント名を入力▶[OK]
4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力▶[☰]▶[保存]

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で[▼]▶[設定]▶[ネットワーク設定]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶[☰]▶[初期設定にリセット]

- spモードにご契約いただいていない場合や、圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス(@docomo.ne.jp)を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uの設定

1 ホーム画面で[▼]▶[設定]▶[ネットワーク設定]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶[mopera U]/[mopera U 設定]

- mopera U 設定はmopera U 設定用アクセスポイントです。mopera U 設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U 設定の詳細については、mopera U のホームページをご覧ください。

Wi-Fiの設定

端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN(IEEE802.11b/g/n)とBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。

- Wi-Fi機能を有効にしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的にLTE/3G/GPRSネットワークでの接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親機の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。
- Wi-Fi機能を利用してドコモサービスを利用する場合は、あらかじめドコモWi-Fiオプションパスワードを設定しておいてください。ホーム画面で[▼]▶[設定]▶[ドコモサービス]▶[Wi-Fi]から設定することができます。

1 ホーム画面で[▼]▶[設定]▶[Wi-Fi]

2 [OFF]を右にスライド

3 アクセスポイントを選ぶ

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、[接続]を選択してください。
- WPSに対応しているアクセスポイントは簡単登録ができます。設定方法（WPS使用可）の項目を選択してアクセスポイントを登録してください。
- アクセスポイントを手動で登録：[ネットワークを追加]▶ネットワークSSIDを入力▶セキュリティを設定▶[保存]
- [AOSS]を選択してもアクセスポイントに接続できます。以降は画面の指示に従って操作してください。

● アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力した場合、[インターネット接続不良により無効]または[認証に問題]、[接続（制限）]と表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても[インターネット接続不良により無効]または[接続（制限）]と表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。

● アクセスポイントの手動登録は、セキュリティ設定としてWEP、WPA／WPA2 PSK、802.1xEAPに対応しています。

切断

1 ホーム画面で[▼]▶[設定]▶[Wi-Fi]

2 接続しているアクセスポイントを選ぶ▶[切断]

- パスワードを保持したまま切断します。

Wi-Fiテザリング

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器をインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

● 同時に接続できるWi-Fi対応機器は５台までです。

1 ホーム画面で[▼]▶[設定]▶[ネットワーク設定]▶[テザリング]

2 項目を選ぶ

■ Wi-Fiテザリング：Wi-Fiテザリングを有効にします。
- ・ご利用の前に、注意事項の詳細をご確認ください。

■ Wi-Fiアクセスポイントを設定：ネットワークSSIDやセキュリティなどWi-Fiテザリングについて設定します。

■ ヘルプ：ヘルプを表示します。

メールのアカウントの設定

1 ホーム画面で[▼]▶[メール]

2 メールアドレス、パスワードを入力▶[次へ]

3 アカウントを設定する▶[次へ]

4 アカウントの名前、あなたの名前を入力▶[次へ]

- 最初に登録したアカウントが、自動的に優先して使用するアカウントとして登録されます。アカウントを複数登録する場合は、アカウント登録時に[いつもこのアカウントでメールを送信]を有効にすると、優先して使用するアカウントとして登録されます。

Googleなどのアカウントの設定

1 ホーム画面で[▼]▶[設定]▶[アカウントと同期]▶[アカウントを追加]

2 アカウントの種類を選ぶ

3 アカウントを設定する

- 設定したアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

電話帳のインポート／エクスポート

ドコモminiUIMカードからのインポート

1 ホーム画面で[▼]▶[電話帳]▶[連絡先]

2 [☰]▶[その他]▶[インポート／エクスポート]▶[SIMカードからインポート]

3 登録先のアカウントを選ぶ

4 インポートする連絡先を選ぶ

- すべての連絡先をインポート：[☰]▶[すべてインポート]

microSDカードからのインポート

1 ホーム画面で[▼]▶[電話帳]▶[連絡先]

2 [☰]▶[その他]▶[インポート／エクスポート]▶[SDカードからインポート]

3 登録先のアカウントを選ぶ

- microSDカードに保存されている電話帳データが1件の場合は、自動的にインポートされます。

4 インポートする電話帳データを選ぶ▶[OK]

microSDカードへのエクスポート

1 **ホーム画面で[▼]▶[電話帳]▶[連絡先]**

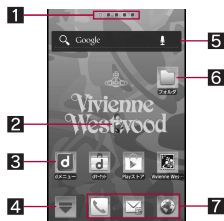
2 **[☰]▶[その他]▶[インポート／エクスポート]▶[SDカードにエクスポート]**

3 **エクスポートする連絡先を選ぶ▶[OK]**

4 **[無し]／[有り]▶[OK]**

ホーム画面

ホーム画面の見かた

電源を入れると、ホーム画面が表示されます。ウィジェットを貼り付けたり、ショートカットやクイックメニューを選択してアプリケーションを起動したりすることができます。

1 インジケータ
- 表示しているページを[■(緑色)]で表します。
- メインページを[■(赤色)]で表します。

2 マチキャラ

3 ショートカット
- よく使うアプリケーションをすばやく起動できます。

4 アプリケーション画面表示
- アプリケーション画面を表示します。

5 ウィジェット
- カレンダーや歩数計など、簡単な機能を利用できます。
- Android標準のウィジェットに対応しています。

6 フォルダ
- フォルダを追加すると、フォルダ内のデータをすばやく表示したり、ショートカットをフォルダに格納したりできます。

7 クイックメニュー
- ショートカットを設定すると、ホーム画面のどのページからもすばやくアプリケーションを起動できます。

- ホーム画面でピンチインすると、ホーム画面一覧を表示します。

ホーム画面の管理

ホーム画面の設定

ホーム画面にショートカットやウィジェットなどを貼り付けたり、ホーム画面について設定したりすることができます。

1 ホーム画面をロングタッチ

2 項目を選ぶ

- ■ショートカット：アプリケーションへのショートカットを追加します。
- ■ウィジェット：ウィジェットを追加します。
- ■フォルダ：フォルダを追加します。
- ■きせかえ：きせかえについては☞P.45
- ■壁紙：壁紙については☞P.45
- ■グループ：グループへのショートカットを追加します。
- ■ホーム画面一覧：ホーム画面一覧を表示します。
- ■壁紙ループ設定：ホーム画面を左右にスライドしたときに、壁紙を繰り返して表示するか設定します。

クイックメニューの設定

クイックメニューにショートカットなどを設定することができます。

1 ホーム画面でショートカットなどをロングタッチ

2 クイックメニューまでドラッグ

ショートカットなどの移動

1 ホーム画面でショートカットなどをロングタッチ

2 移動先までドラッグ

- ページの端までドラッグすると、前／次のページが表示され、前／次のページに移動できます。

ショートカットなどの削除

1 ホーム画面でショートカットなどをロングタッチ

2 [削除]

ショートカットやウィジェットのアンインストール

1 ホーム画面でショートカット／ウィジェットをロングタッチ

2 [アンインストール]▶[OK]▶[OK]

フォルダ名の変更

1 ホーム画面でフォルダをロングタッチ

2 [名称変更]

3 フォルダ名を入力▶[OK]

きせかえの変更

1 **ホーム画面で[☰]▶[きせかえ]**

2 **きせかえを選ぶ▶[設定する]**

壁紙の変更

1 **ホーム画面で[☰]▶[壁紙]**

2 **データを選ぶ▶[壁紙に設定]**

- [ギャラリー]または[コンテンツマネージャー]の場合は、切り取る部分を選び、[トリミング]や[保存]を選択してください。

ページの管理

ページの追加

1 **ホーム画面でピンチイン▶[+]**

ページの並べ替え

1 **ホーム画面でピンチイン▶サムネイルをロングタッチ**

2 **移動先までドラッグ**

ページの削除

1 **ホーム画面でピンチイン▶サムネイルをロングタッチ**

2 **[削除]**

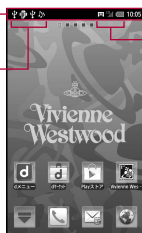
- [☒]をタッチしても削除できます。

画面表示／アイコン

アイコンの見かた

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や不在着信の有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。

お知らせアイコン	不在着信や新着メールなどをお知らせします。
ステータスアイコン	電池残量や電波状態など端末の状態を表します。

主なお知らせアイコン一覧

- 同じ種類のお知らせが複数ある場合は、お知らせアイコンに件数が重なって表示されます。

:不在着信あり

:新着SMSあり

:新着メールあり

:新着Gmailあり

:新着インスタントメッセージあり

:エラー表示
- 何らかのエラーが発生したときに表示されます。

:アラーム終了
- アラーム終了操作を行わずにアラームが終了したときに表示されます。

:カレンダーのスケジュール通知あり

ワンセグ情報あり
:ワンセグ視聴情報あり
:ワンセグ録画情報あり

:音楽再生中

:USBデバッグ接続中

通話表示
:着信中
:Bluetooth機器で通話中

:伝言メモあり

:留守番電話の伝言メッセージあり

microSDカード表示
:スキャン中
:マウントを解除したとき

:システムメモリの空き容量低下

:おまかせロック設定中

Bluetooth表示
:Bluetooth機器からの登録要求/接続要求あり
:データ受信要求あり
:DUN接続要求あり/DUN接続中

USB接続表示
:USB接続(カードリーダーモード接続時)
:MTPモード/PTPモード/カードリーダーモード/高速転送モード

データ送受信表示
:送信表示
:受信表示

:アプリケーションのインストール完了

Wi-Fi表示
:オープンネットワークあり
:Wi-Fi接続制限あり

:Wi-Fiテザリング/Wi-Fi Directが有効

:VPN接続

:アプリケーションのアップデートあり

:OSバージョンアップあり

ソフトウェア更新表示
:ソフトウェア更新あり
:ソフトウェア更新完了

:表示されていないお知らせアイコンあり

エコ技設定表示
:技ありモード
:お助けモード

:GPS測位中

主なステータスアイコン一覧

:アラーム設定中

電池残量表示
～:約100%～約5%
:約0%
- 充電中は電池マークに[ ]が重なって表示されます。

電波状態表示
:レベル4
:レベル3
:レベル2
:レベル1
:レベル0
:圏外
- 国際ローミング中は電波マークの左上に[R]が表示されます。

:機内モード中

3Gデータ通信状態表示
:3G使用可能
:3Gデータ受信中
:3Gデータ送信中
:3Gデータ送受信中

GSMデータ通信状態表示
:GSM使用可能
:GSMデータ受信中
:GSMデータ送信中
:GSMデータ送受信中

LTEデータ通信状態表示
:LTE使用可能
:LTEデータ受信中
:LTEデータ送信中
:LTEデータ送受信中

HSPAデータ通信状態表示
:HSPA使用可能
:HSPAデータ受信中
:HSPAデータ送信中
:HSPAデータ送受信中

:おサイフケータイ ロック設定中

文字入力モード表示
:ひらがな漢字
:全角カタカナ
:半角カタカナ
:全角英字
:半角英字
:全角数字
:半角数字
:区点コード

マナーモード表示
:通常マナー
:ドライブマナー
:サイレントマナー

:ミュートに設定中

Wi-Fi電波状態表示
:レベル4
:レベル3
:レベル2
:レベル1
:レベル0

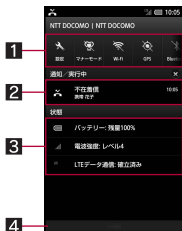
Bluetooth表示
:待機中
:接続中

伝言メモ表示
:伝言メモ設定中で伝言メモが0件
:伝言メモ設定中で伝言メモが1～9件
:伝言メモ設定中で伝言メモが10件

ホームネットワーク表示
DMS:停止中
DMS(緑色):準備中
DMS(青色):動作中

ステータスパネルの利用

1 ステータスバーを下にドラッグ

2 ステータスパネルを利用

1 機能キーエリア
- 「設定」アプリケーションの起動やマナーモード、Wi-Fi機能の使用などについて設定できます。

2 お知らせアイコン詳細情報
- 対応するアプリケーションがある場合、詳細情報をタッチしてアプリケーションを起動できます。
- 左右にフリックすると、お知らせアイコン詳細情報を消去できる場合があります。

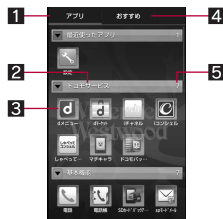
3 ステータスアイコン詳細情報
- 対応するアプリケーションがある場合、詳細情報をタッチしてアプリケーションを起動できます。

4 閉じるバー
- 上にドラッグすると、ステータスパネルを閉じることができます。

- [×]をタッチするとお知らせアイコン詳細情報とお知らせアイコンを消去します。

アプリケーション画面

アプリケーション画面の見かた

アプリケーション画面には、搭載されているアプリケーションがグループごとにアイコンで表示されます。アイコンを選んで、アプリケーションを起動することができます。

1 アプリタブ
- インストールされているアプリケーションを表示します。

2 グループ名

3 アプリケーションアイコン

4 おすすめタブ
- ドコモがおすすめするアプリケーションを表示します。

5 アプリケーション数

- グループをタッチすると、グループ内のアプリケーションアイコンを表示／非表示します。また、アプリケーション画面でピンチアウト／ピンチインすると一括してグループ内のアプリケーションアイコンを表示／非表示します。

アプリケーションの管理

ホーム画面に追加

1 ホーム画面で[▼]▶アプリケーションアイコンをロングタッチ

2 [ホームへ追加]

アプリケーションのアンインストール

1 ホーム画面で[▼]▶アプリケーションアイコンをロングタッチ

2 [アンインストール]▶[OK]▶[OK]

アプリケーションの移動

1 ホーム画面で[▼]▶アプリケーションアイコンをロングタッチ

2 [移動]▶グループを選ぶ

グループの管理

グループの追加

1 ホーム画面で[▼]▶[☰]▶[グループ追加]

2 グループ名を入力▶[OK]

グループの並べ替え

1 ホーム画面で[▼]▶グループをロングタッチ

2 移動先までドラッグ

グループ名の編集

1 ホーム画面で[▼]▶グループをロングタッチ

2 [名称変更]▶グループ名を入力▶[OK]

グループ色の変更

1 ホーム画面で[▼]▶グループをロングタッチ

2 [ラベル変更]▶色を選ぶ

ホーム画面に追加

1 ホーム画面で[▼]▶グループをロングタッチ

2 [ホームへ追加]

グループの削除

1 ホーム画面で[▼]▶グループをロングタッチ

2 [削除]▶[OK]

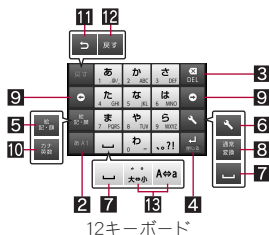
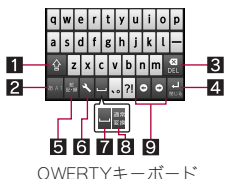
文字入力

キーボードの見かた

- 次の２種類のキーボードを利用できます。

QWERTYキーボード	文字入力キーをタッチすると表示されている文字を入力できます。ローマ字で文字を入力します。
12キーボード	１つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられています。文字入力キーをタッチするたびに文字が切り替わります。 ● 文字入力キーを上下左右にフリックして、文字を入力することもできます。

QWERTYキーボード

12キーボード

※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

1 シフトキー
- 大文字／小文字を切り替えるときなどにタッチします。
  - ・[⇧]が表示されているときは小文字が入力されます。[⇧]が表示されているときは最初に入力する文字が大文字になります。[⇧]が表示されているときは大文字が入力されます。
  - ・大文字／小文字を切り替えると、入力できる記号も変わります。

2 入力モード切替キー
- 入力モードを変更するときにタッチします。
  - ・タッチすると、ひらがな漢字→半角英字→半角数字の順に、入力モードが切り替わります。各入力モードで設定したキーボードが表示されます。
  - ・入力モード切替キーを右にスライドしても入力モードを切り替えることができます。

3 削除キー
- カーソル左側の文字を消します。カーソルが先頭にある場合はカーソル右側の文字を、文字にカーソルが当たっている場合はカーソル位置の文字を消します。

4 エンターキー
- 改行します。
- 入力した文字を確定します。
- 検索ボックスなどの入力欄に入力した内容を実行します。
- 次の入力欄に移動します。
- ロングタッチすると、キーボードを閉じます。

5 記号キー

- 絵文字／デコメ絵文字®／記号／顔文字リストを表示します。
  - ・アプリケーションによっては、入力できないものがあります。
- 右にスライドすると連携アプリ一覧が表示されます。

6 設定キー

- 設定メニューを表示します。

7 スペースキー

- スペースを入力します。

8 通常変換キー

- 入力した文字を通常変換します。

9 カーソルキー

- カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。

10 カナ英数キー

- 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英数字や記号の通常変換候補を表示します。
- 右にスライドすると連携アプリ一覧が表示されます。

11 逆トグルキー

- 同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。

12 戻すキー

- 直前に行った操作を取り消します。

13 文字切替キー

- 大文字／小文字を切り替えるときにタッチします。
- 濁点／半濁点を付けるときにタッチします。

キーボードの切替

例：ひらがな漢字入力モードで縦表示のとき

1 文字入力画面で[🔧]▶[入力方式を切替]▶[QWERTYキーボードに切替[あいう[漢字]][縦画面]]／[12キーボードに切替[あいう[漢字]][縦画面]]

- キーボードを左右に端から端までスライドしても切り替えることができます。

文字入力のしかた

例：「文字」と入力するとき

1 文字入力画面で「もじ」と入力

1 拡大／縮小

- 予測変換候補欄を拡大／縮小します。

2 予測変換候補欄

- 予測変換候補が表示されます。変換候補をタッチすると入力できます。
- 外部変換エンジンを設定している場合は［外部変換］が表示されます。タッチすると外部の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

2 ［通常変換］

3 変換候補欄で「文字」を選ぶ

1 閉じる

- 通常変換候補欄を閉じます。

2 通常変換候補欄

- 通常変換候補が表示されます。変換候補をタッチすると入力できます。
- 外部変換エンジンを設定している場合は[外部変換]が表示されます。タッチすると外部の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

3 文節縮小

- 変換する文字の区切りを縮小することができます。

4 確定

- 変換を確定します。

5 予測変換

- 通常変換候補欄を閉じます。
- 変換する文字の区切りを縮小している場合は、[文節拡大]が表示されます。タッチすると変換する文字の区切りを拡大することができます。

テキスト編集

入力した文字を選択して切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。

1 入力した文字をロングタッチ

2 文字を編集する

- 選択範囲の指定：[ ]／[ ]をドラッグ
- 辞書で検索：[辞書]

1 すべて選択

- 入力した文字をすべて選択します。

2 切り取り

- 選択した文字を切り取ります。

3 コピー

- 選択した文字をコピーします。

4 貼り付け

- 切り取った文字やコピーした文字を貼り付けます。
- 文字入力欄をロングタッチ▶[貼り付け]でも、文字を貼り付けることができます。

ロックとセキュリティ

端末で利用する暗証番号

端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、端末を活用してください。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[･]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

セキュリティキー（各種機能用の暗証番号）

セキュリティキーは、お買い上げ時は暗証番号[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で変更できます。

- セキュリティキーの入力を、5回連続して間違えると30秒間入力ができません。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、dメニューからはホーム画面で[▼]▶[dメニュー]▶[お客様サポートへ]▶[各種お申込・お手続き]からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My docomo」、「お客様サポート」については、本書の裏表紙の裏面をご覧ください。

PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。この暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者による端末の無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は[0000]となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとドコモminiUIMカードが完全にロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

SIMカードロック設定

PINコードについて設定します。

1 **ホーム画面で[▼]▶[設定]▶[ロックとセキュリティ]▶[SIMカードロック設定]**

2 **項目を選ぶ**

■ SIMカードをロック：電源を入れたときにPINコードを入力するか設定します。
■ SIM PINの変更：PINコードを変更します。

PINロックの解除

1 **PINロック中画面でPINロック解除コードを入力**

2 **新しいPINコードを入力**

3 **もう一度、新しいPINコードを入力▶[OK]**

電話／メール／ブラウザ

電話をかける

1 ホーム画面で[▽]▶[電話]▶[ダイヤル]

2 電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。

1 発信
- 電話を発信します。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力のときにタッチすると最新の発信履歴が入力されます。

2 削除
- 入力した番号を 1 文字削除します。

3 発信履歴／着信履歴

4 お気に入り
- [お気に入り]にグループ設定されている連絡先を表示します。

5 ダイヤル
- ダイヤル画面を表示します。

6 電話帳に登録

7 声の宅配便
- 声の宅配便について、詳細はドコモのホームページをご覧ください。

8 電話帳
- 電話帳を表示します。

3 [📞]

4 通話が終わったら[終了]

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 日本国内ではドコモminiUIMカードを取り付けていない場合やPINコードの入力画面、PINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

電話を受ける

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 着信中に▯／▯を押すと、着信音やバイブレータ、着信ランプの点滅を止めることができます。

2 電話を受ける

- [操作開始]をタッチしてから操作してください。

1 拒否
- 着信を拒否することができます。

2 通話
- 電話を受けることができます。

3 通話が終わったら[終了]

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。

1 通話を追加※
- 通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。

2 終了
- 通話を終了します。

3 ダイヤルキー
- プッシュ信号の入力ができます。

4 保留※
- 通話中の電話を保留／保留解除にします。
- 通話を追加している場合は[切り替え]が表示されます。タッチすると通話相手を切り替えることができます。

5 ミュート
- 通話中の電話をミュート／ミュート解除にします。

6 スピーカー
- ハンズフリーで通話ができます。

※キャッチホンのご契約が必要です。

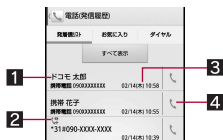
通話音量調節

1 通話中に▲/▼

発着信履歴

発信履歴／着信履歴が最新の履歴から合わせて50件までシステムメモリに記憶されます。

1 ホーム画面で[▣]▶[電話]▶[発着信リスト]▶[発信履歴]／[着信履歴]

2 履歴を選ぶ

発信履歴一覧画面

着信履歴一覧画面

1 相手の名前／電話番号

2 ステータスアイコン

アイコン	説明
（アイコン）	通知あり発信※
（アイコン）	通知なし発信※
（アイコン）	国際電話発信
（アイコン）	国際電話着信
（アイコン）	声の宅配便発信

※ 電話番号の前に「186」／「184」を付加した場合、またはダイヤル画面で電話番号を入力して[☰]▶[発信者番号通知]▶[通知する]／[通知しない]で番号通知／番号非通知を設定した場合に表示されます。

3 発着信日時

4 発信アイコン

- タッチすると発信します。

5 不在着信

3 [電話をかける]

- SMSの作成・送信：[SMSを送信する]▶SMSを作成・送信
- 声の宅配便の録音：[声の宅配便を録音する]
- 電話帳に登録：[電話帳に登録]▶登録先を選ぶ▶各項目を設定▶[登録完了]

発着信履歴の削除

全件削除

1 発信履歴一覧画面／着信履歴一覧画面で[☰]▶[全件削除]▶[OK]

1件削除

1 発信履歴一覧画面／着信履歴一覧画面で履歴をロングタッチ▶[通話履歴から削除]▶[OK]

電話帳

電話帳の登録

1 ホーム画面で[▼]▶[電話帳]▶[連絡先]▶[登録]

- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

2 各項目を設定

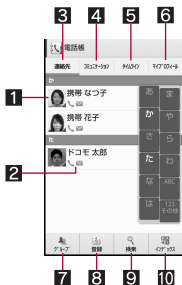
- 登録できる情報はアカウントの種類によって異なります。

3 [登録完了]

電話帳の確認／利用

登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 ホーム画面で[▼]▶[電話帳]▶[連絡先]

2 名前を選ぶ

1 画像

- タッチすると連絡先の登録内容に対応するアプリケーションを選んで利用できます。

2 登録内容

- 登録内容がアイコンで表示されます。

3 連絡先

4 コミュニケーション

- コミュニケーション履歴（通話、spモードメール、SMS、SNSのメッセージ）を表示できます。コミュニケーションの内容を確認したり、電話の発信やSMSの送信などを行ったりすることができます。

5 タイムライン

- SNS連携機能で設定したSNS・ブログのタイムラインを表示できます。詳細内容の確認やコメント、「いいね！」の投稿などをすることができます。

6 マイプロフィール

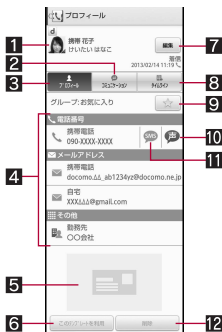
7 グループ

8 登録

9 検索

10 インデックス

- インデックスを表示します。
- タッチした見出しに移動できます。

3 登録情報を確認／利用する

1 画像

2 コミュニケーション

3 プロフィール
- 登録内容を表示します。

4 登録内容
- 登録内容を確認／利用できます。

5 名刺
- 名刺交換で受信した名刺を登録すると表示されます。

6 このテンプレートを利用
- 登録してある名刺をテンプレートとして、自分の名刺を作成できます。

7 編集

8 タイムライン

9 お気に入り
- ドコモアカウントの場合、[お気に入り]にグループ設定することができます。

10 声の宅配便
- 声の宅配便について、詳細はドコモのホームページをご覧ください。

11 SMS

12 削除
- 登録してある名刺を削除します。

電話帳の削除

全件削除

1 ホーム画面で[▼]▶[電話帳]▶[連絡先]

2 [☰]▶[削除]▶[全選択]▶[削除]▶[OK]

1件削除

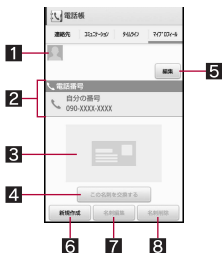
1 ホーム画面で[▼]▶[電話帳]▶[連絡先]

2 名前を選ぶ▶[☰]▶[削除]▶[OK]

マイプロフィール

ドコモminiUIMカードに登録されているお客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

1 **ホーム画面で[▼]▶[電話帳]▶[マイプロフィール]**

2 **プロフィールを確認／利用する**

1 画像

2 登録内容

3 名刺
- 作成した名刺が表示されます。

4 この名刺を交換する
- 登録した名刺を交換します。

5 編集

6 新規作成
- 名刺を作成します。
- 名刺の作成には名刺作成アプリをダウンロードする必要があります。以降は画面の指示に従って操作してください。

7 名刺編集
- 名刺作成アプリで名刺を編集します。

8 名刺削除

マイプロフィールの編集

1 **ホーム画面で[▼]▶[電話帳]▶[マイプロフィール]▶[編集]**

2 **各項目を設定▶[登録完了]**

- SNS・ブログのアカウントを登録すると、SNS連携機能の利用を開始することができます。
- SNS連携機能の利用を停止：ホーム画面で[▼]▶[電話帳]▶[マイプロフィール]▶[☰]▶[全体設定]▶[SNS連携機能の利用停止]▶[利用停止]▶[利用停止]▶[閉じる]
- SNS連携機能の詳細についてはヘルプをご確認ください。
  ホーム画面で[▼]▶[電話帳]▶[連絡先]▶[☰]▶[ヘルプ]

spモードメール

ｉモードのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

● spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック(spモード編)』をご覧ください。

1 ホーム画面で[▤]▶[spモードメール]

• 以降は画面の指示に従って操作してください。

SMS

電話番号を利用して、他の端末へ全角最大70文字(半角英数字のみの場合は最大160文字)までのテキストメッセージが送受信できます。

● 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 ホーム画面で[▤]▶[メッセージ]

2 [✉]▶宛先、メッセージ本文を入力▶[➤]

Eメール

mopera Uなどのサービスプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、メールの送受信ができます。

● あらかじめ、アカウント設定をしておいてください(☞P.42)。

1 ホーム画面で[▤]▶[メール]

2 [✉]

3 メールを作成

• ファイルの添付：[☰]▶[ファイルを添付]▶ファイルを選ぶ

4 [➤]

Gmail

Gmailは、Googleのメールサービスです。

● あらかじめ、Googleアカウントの設定をしておいてください(☞P.42)。

1 ホーム画面で[▤]▶[Gmail]

2 [✉]

3 メールを作成

4 [➤]

緊急速報「エリアメール」

緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリケーションです。

- エリアメールとは、気象庁が配信する緊急地震速報などを受信できるサービスです。
- エリアメールが送られてきたときは自動的に受信し、スリープモード中や画面ロック設定中にかかわらず内容を表示します。
- 端末の状態によっては、受信できないことや自動表示しないことがあります。
- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。

1 エリアメールを自動的に受信

2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、エリアメールの本文が表示される

受信したエリアメールをあとで確認する

1 ステータスバーを下にドラッグ▶受信したエリアメールを選ぶ

- ホーム画面で[▼]▶[エリアメール]でも確認できます。

緊急速報「エリアメール」の設定

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 ホーム画面で[▼]▶[エリアメール]

2 [☰]▶[設定]▶項目を選ぶ

- 緊急地震速報のブザー音や津波警報、災害・避難情報の専用着信音、着信音量、バイブレータの設定は変更できません。

ブラウザ

サイトの表示

本端末では、パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できます。

1 ホーム画面で[▼]▶[ブラウザ]

付録

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（☞P.71）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」、またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

電源

端末の電源が入らない	
● 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.31
● 電池切れになっていませんか。	P.32

充電

充電ができない 充電ランプが点灯しない、または点滅する	
● 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.31
● アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。	P.33
● アダプタと端末が正しくセットされていますか。	P.33
● ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタ、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SH01／T01（別売）、端末、付属の卓上ホルダがしっかりと接続されていますか。	P.33
● 卓上ホルダを使用する場合、端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。	P.32
● 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	－

端末操作

操作中・充電中に熱くなる	
● 操作中や充電中、また、充電しながらワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	－

電池の使用時間が短い	
● 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。	－
● 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。	－

● 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	−

電源断・再起動が起きる	
● 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	−

タッチしたり、キーを押したりしても動作しない	
● 端末の電源が切れていませんか。	P.35

ドコモminiUIMカードが認識しない	
● ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。	P.28

時計がずれる	
● 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 自動で時刻を補正するように設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。	−

端末動作が不安定	
● ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ・セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 ● セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から電源を入れ直し、起動中の画面でホーム画面が表示されるまでを押し続けてください。 ・セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]／[Safe mode]と表示されます。 ・セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし起動し直してください。 ● 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ● お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 ● セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。	−

通話

タッチしたり、キーを押したりしても発信できない	
● アプリケーションロックの音声発信制限を設定していませんか。	−
● 機内モードを設定していませんか。	−

通話ができない（場所を移動しても[圏外]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	
● 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモminiUIMカードを入れ直してください。	P.28 P.31 P.35
● 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[電波]を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。	−
● 着信拒否など着信制限を設定していませんか。	−
● 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。	−

カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	
● 近くの被写体を撮影するときは、フォーカス設定を[接写AF]に切り替えてください。	−
● カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。	−

おサイフケータイ

おサイフケータイが使えない	
● 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、おサイフケータイ ロック設定にかかわらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。	−
● おサイフケータイ ロック設定を行っていませんか。	−
● 端末のFeliCaマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。	−

エラーメッセージ

端末に表示される主なエラーメッセージを「英数字」、「50音」の順に記載しております。

[SIMカードを挿入／再確認してください。]

- ドコモminiUIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。☞P.28

[xx通を受信しましたが全てのメールを受信できませんでした]

- 何らかの原因ですべてのメールを受信できなかった場合に表示されます。

[暗証番号を入力してください]

- 端末のロック中に、制限されている機能の操作をしようとした場合に表示されます。暗証番号を入力すると、端末のロックが一時解除され、操作できます。
- 暗証番号の入力が必要な機能を利用しようとした場合に表示されます。

[応答が無いため接続が中断されました]
[サーバーエラー　送信できませんでした]
[接続エラー　送信できませんでした]
[送信先サーバーが対応しておりません]
[通信エラー　しばらくたってから送り直してください]

- メールやSMSを利用するとき、回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている場合に表示されます。しばらくたってから送信し直してください。

[このコンテンツを再生する権限がありません]

- 有効なライセンスを保持していない場合や再生期間、再生期限が終了した著作権保護コンテンツを再生しようとした場合に表示されます。

[製造番号を通知しますか？]

- ワンセグ視聴中に表示されることがあります。[はい]を選択すると、端末とドコモminiUIMカードの製造番号が送信されます。

[接続できません]

- 何らかの原因でデータ放送に接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。

[送信できませんでした]

- SMSが正しく送信できなかった場合に表示されます。
- メールを正常に送信できなかった場合に表示されます。電波の強いところでもう一度メールを送信し直してください。

[モバイルネットワークが利用できません。]

- 有効なネットワークモードに設定されているかご確認ください。

[ライセンスの取得に失敗しました。再生できません。]

- 再生期限が切れた著作権保護コンテンツのライセンス更新に失敗したときに表示されます。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作・設定に関する操作サポートを受けることができます。

- 次の場合は、スマートフォンあんしん遠隔サポートを利用できません。
  - ■ドコモminiUIMカードが挿入されていない場合
  - ■国際ローミング中
  - ■機内モード中
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

スマートフォン遠隔サポートセンター 0120-783-360 受付時間：午前9:00～午後8:00（年中無休）

1 ホーム画面で[▼]▶[電話]▶[ダイヤル]

2 スマートフォン遠隔サポートセンターの電話番号を入力▶[📞]

3 ホーム画面で[▼]▶[遠隔サポート]

- はじめてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

4 ドコモからご案内する接続番号を入力

5 遠隔サポートを開始

オールリセット

システムメモリ内のすべてのデータを消去します。

- オールリセット中は電池パックを外さないでください。

1 ホーム画面で[▼]▶[設定]▶[バックアップとリセット]▶[オールリセット]

2 [携帯端末をリセット]▶暗証番号を入力▶[OK]▶[すべて消去]

- [本体内データを消去]／[microSD内データを消去]を有効にすると、本体メモリやmicroSDカード内のデータも同時に消去されます。

- 消去されるデータは次のとおりです。
  - ■作成、保存、登録したデータ
  - ■「設定」アプリケーションで設定した内容
  - ■ダウンロードしたアプリケーション
  - ■お買い上げ時にインストールされている一部のアプリケーション
- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションを消去した場合は、メーカーサイトからダウンロードできます。次のサイトの製品情報をご確認ください。
  http://3sh.jp/

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。
  必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。
  無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※本端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要なサービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子が良くないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、裏表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - ■火災・けが・故障の原因となります。
  - ■改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - ・接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ■改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  - ■銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

技術基準適合認証品

- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  - ■使用箇所:スピーカー、受話口部
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- 本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

SH-01Eのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。

- ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。
- 更新方法は、次の３種類があります。

  自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

  即時更新：今すぐ更新を行います。

  予約更新：予約した時刻に自動的に更新をします。

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続することをおすすめします。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ■ 通話中
  - ■ [圏外アイコン]が表示されているとき※
  - ■ 国際ローミング中※
  - ■ 機内モード中※
  - ■ Wi-Fiテザリング中
  - ■ OSバージョンアップ中
  - ■ 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ■ ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき

  ※ 圏外、国際ローミング中は、Wi-Fi接続中であっても更新できません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。

- ソフトウェア更新は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、[更新の必要はありません。このままお使いください]と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、[ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であってもダウンロードを開始できません]と表示されます。Wi-Fi接続中も同様です。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のSH-01E固有の情報(機種や製造番号など)が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、[ソフトウェア更新に失敗しました。]と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただけますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

ソフトウェアの自動更新設定

- お買い上げ時は、自動更新の設定が[自動で更新を行う]に設定されています。

1 ホーム画面で[▤]▶[設定]▶[端末情報]▶[ソフトウェア更新]▶[ソフトウェア更新設定の変更]

2 [自動で更新を行う]／[自動で更新を行わない]

ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに[⊕](ソフトウェア更新有)が通知されます。

- [⊕](ソフトウェア更新有)が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、[⊕](ソフトウェア更新有)は消えます。

1 ステータスパネルで[⊕](ソフトウェア更新有)

- 書き換え予告画面が表示され、書き換え時刻が確認できます。

2 書き換え方法を選ぶ

- OK:設定時刻になると更新を開始します。
- 開始時刻変更:開始時刻変更については☞P.73
- 今すぐ開始:今すぐ開始については☞P.73

- 更新通知を受信した際に、ソフトウェア更新ができなかった場合には、ステータスバーに[⊙](ソフトウェア更新有)が表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新設定が、[自動で更新を行わない]の場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新を起動するには書き換え予告画面から起動する方法とメニューから起動する方法があります。

1 ホーム画面で[▤]▶[設定]▶[端末情報]▶[ソフトウェア更新]▶[更新を開始する]▶[はい]

- 書き換え予告画面からの起動：書き換え予告画面を表示▶[今すぐ開始]

2 [書き換え処理を開始します]の表示後、約10秒後に自動的に書き換え開始

- [OK]をタッチすると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- ソフトウェア更新が完了すると再起動がかかり、ホーム画面が表示されます。

- ソフトウェア更新の必要がないときには、[更新の必要はありません。このままお使いください]と表示されます。

ソフトウェア更新終了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに通知されます。ステータスパネルを開いて通知をタッチすると完了画面が表示されます。

ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 書き換え予告画面を表示▶[開始時刻変更]

2 時刻を入力▶[OK]

予約した時刻になると

開始時刻になると書き換え処理画面が表示され、約10秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。

- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- OSバージョンアップ中の場合、予約時刻になってもソフトウェア更新は行われません。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にSH-01Eの電源がOFFの場合、電源を入れたあと、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

- ソフトウェア更新実行時にステータスパネルに[❗ソフトウェア更新を中断しました　端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください]と表示された場合は、下記の状態でないことをご確認の上、再度更新を行ってください。
  - ■ [圏外]が表示されているとき
  - ■ Wi-Fiテザリング中
  - ■ 電池パック未装着のとき
  - ■ 他の機能が起動しているとき

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種SH-01Eの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※１）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は1.20W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します（※２）。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5cm以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html

ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/

シャープ株式会社のホームページ
http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html

※1　技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2　携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 1.00 W/kg※.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity

CE0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SH-01E is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
  Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.869 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 1.07 W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID APYHRO00169.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org/.

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model SH-01E mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.
This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves (*1) and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.
The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use at the ear is 1.20 W/kg. There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.
The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.

This mobile phone can be used in positions other than against your ear. This mobile phone satisfies the international guidelines when used with a carrying case or a wearable accessory approved by NTT DOCOMO, INC. (*2). In case you are not using the approved accessory, please use a product that does not contain any metals, and one that positions the mobile phone at least 1.5 cm away from your body.
The World Health Organization has stated that “a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”
Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm
Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm
Association of Radio Industries and Businesses Website:
http://www.arib-emf.org/index02.html (in Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
http://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/
SHARP Corporation Website:
http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html (in Japanese only)

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).

*2 Regarding the method of measuring SAR when using mobile phones in positions other than against the ear, international standards (IEC62209-2) were set in March of 2010. On the other hand, technical regulation is currently being deliberated on by national council (As of October, 2011).

CAUTION

Use only the battery packs and adapters specified by NTT DOCOMO for use with the handset.
May cause fires, burns, bodily injury or electric shock.

Do not throw the battery pack into a fire.
The battery pack may catch fire, explode, overheat or leak.

Do not dispose of used battery packs in ordinary garbage.
May cause fires or damage to the environment. Place tape over the terminals to insulate unnecessary battery packs, and take them to a docomo Shop, retailer or institution that handles used batteries in your area.

Avoid using the handset in extremely high or low temperatures.
Use the handset within the range of a temperature between 5°C and 40°C (for temperatures of 36°C or higher, limit usage to a short period of time) and a humidity between 45% and 85%.

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C.

Do not point the illuminated light directly at someone’s eyes. Especially when you shoot still pictures or moving pictures of young children, keep 1 m or more distance from them.
Do not use Mobile light near people’s faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

Bluetooth function

- The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, INC. and any use of such marks by NTT DOCOMO, INC. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Inquiries

General inquiries <docomo Information Center>

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m.)

0120-005-250 (toll free)

※ Service available in: English, Portuguese, Chinese, Spanish, Korean.

※ Unavailable from part of IP phones.

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m. (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

(No prefix) 151 (toll free)

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

0120-800-000 (toll free)

※ Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.

Repairs

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

(No prefix) 113 (toll free)

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

0120-800-000 (toll free)

※ Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.
- For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or the docomo Shop etc. near you on the NTT DOCOMO website.

  NTT DOCOMO website:

  http://www.nttdocomo.co.jp/english/

Loss or theft of handset or payment of cumulative cost overseas <docomo Information Center>

(available 24 hours a day)

From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay	-81-3-6832-6600* (toll free)

* You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.

※ If you use SH-01E, you should dial the number +81-3-6832-6600 (to enter “+”, touch “0” for a while).

From land-line phones

<Universal number>

Universal number international prefix	-8000120-0151*

* You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.

※ For international call access codes for major countries and universal number international prefix, refer to DOCOMO International Services website.

Failures encountered overseas <Network Support and Operation Center>

(available 24 hours a day)

From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay	-81-3-6718-1414* (toll free)

* You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.

※ If you use SH-01E, you should dial the number +81-3-6718-1414 (to enter "+", touch "0" for a while).

From land-line phones

<Universal number>

Universal number international prefix	-8005931-8600*

* You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.

※ For international call access codes for major countries and universal number international prefix, refer to DOCOMO International Services website.

- If you lose your handset or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the handset.
- If the handset you purchased is damaged, bring your handset to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。
  また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」、「dメニュー」、「dマーケット」、「おサイフケータイ」、「mopera」、「mopera U」、「デコメール®」、「デコメ絵文字®」、「ｉアプリ」、「ｉモード」、「公共モード」、「おまかせロック」、「ケータイデータお預かりサービス」、「エリアメール」、「マチキャラ」、「spモード」、「Xi」、「Xi／クロッシィ」、「声の宅配便」、「eトリセツ」、「Xi」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、Exchange®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
  文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- ドキュメントビューアはDataViz社のDocuments To Goを搭載しております。
   DataViz, Documents To Go and InTact Technology are trademarks or registered trademarks of DataViz, Inc.
- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよび®は、シャープ株式会社の登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー及びダブルＤ記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。
- PhotoScouter®、TrackSolid®は株式会社モルフォの登録商標です。
- AOSS™ 及び、AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi Direct™、Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Alliance®の商標です。
  The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.
- 「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の登録商標です。

- DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™ は、Digital Living Network Alliance の商標です。
  DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
  本機のDLNAの認定はシャープ株式会社が取得しました。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
  この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
  この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- Portions Copyright © 2004 Intel Corporation
  この製品にはIntel Corporationのソフトウェアを一部利用しております。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2012 All Rights Reserved.
  iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2012 All Rights Reserved.
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ Mを搭載しています。
  *新ゴは株式会社モリサワの登録商標です。
- MyScript® Stylus Mobileは、ビジョン・オブジェクツS.A.(ビジョンオブジェクツ)の商標です。
- aptX®はCSR plc.の登録商標です。
- 「エコ技」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。
  - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ(以下「MPEG-4ビデオ」と記載します)を符号化すること。
  - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
  - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。

  その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
  - ■ タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
  - ■ 永久記録および／または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。

  追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.comをご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.comをご参照ください。
- コンテンツ所有者は、Microsoft PlayReady™コンテンツアクセス技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用してPlayReady保護コンテンツおよびWMDRM保護コンテンツにアクセスします。本製品がコンテンツの使用を適切に規制できない場合、PlayReady保護コンテンツを使用するために必要な本製品の機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツや他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツが影響を受けることはありません。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、PlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - ■ Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - ■ Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - ■ Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Google+、Google+ ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、カレンダー ロゴ、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google トーク、Google トーク ロゴ、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索™ ロゴ、Picasa™、Picasa ロゴ、YouTube およびYouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面から［▤］▶［設定］▶［端末情報］▶［法的情報］▶［オープンソースライセンス］をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License（MPL）に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/

SIMロック解除

- 本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。
- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式ではご利用になれません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

本索引は、機能名や記載内容を要約した用語を「50音」、「英数字」の順に収録しています。

あ

か

さ

た

は

ま

や

ら

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

spモードから　dメニュー▶お客様サポートへ▶各種お申込・お手続き（パケット通信料無料）
パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）▶各種お申込・お手続き

※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※ 「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は裏表紙の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード
本端末から鳴る音を消します。
※ ただし、カメラのシャッター音は消せません。

● 公共モード（電源OFF）
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

● バイブ
電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

● 伝言メモ
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※ その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
<ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）**151**（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　午前9:00～午後8:00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）**113**（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
<ドコモ インフォメーションセンター>
（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）
＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SH-01Eからご利用の場合は、＋81-3-6832-6600でつながります。
（「＋」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>
ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***
＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について
<ネットワークオペレーションセンター>
（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***（無料）
＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SH-01Eからご利用の場合は、＋81-3-6718-1414でつながります。
（「＋」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>
ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***
＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　シャープ株式会社

Li-ion00

再生紙を使用しています

'12.11（1版）
TINSJA970AFZZ
12L 30.0 TR SM92①